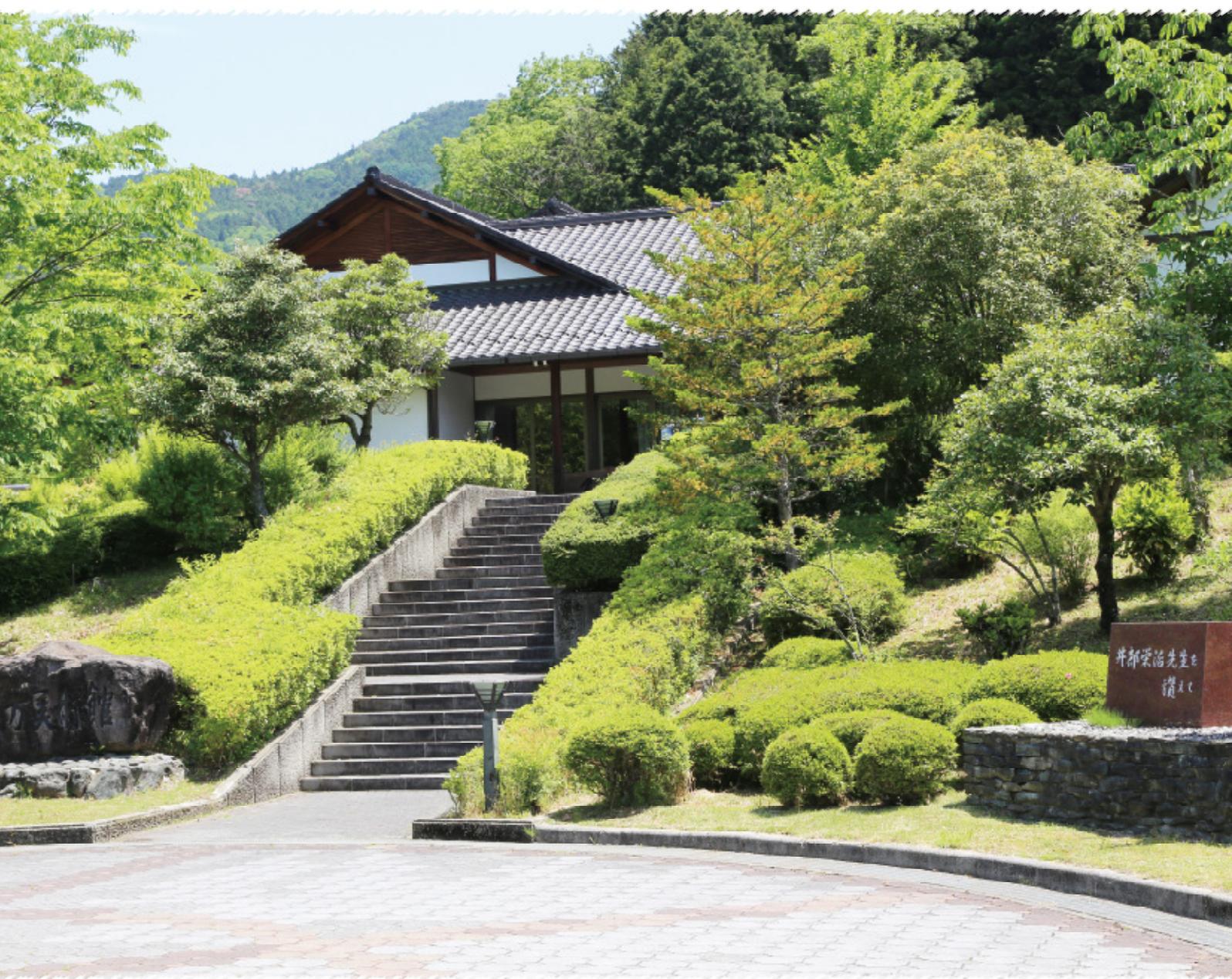


久万高原町
議会だより

第1号

2014年
6月



町立久万美術館

主な内容

議会だより発刊によせて……2
平成26年3月定例議会
平成26年度当初予算 ……3~5

一般質問 ……6~9
委員会報告 ……10~14
議会活動報告 ……15

議会だより 発刊によせて

久万高原町議会議長

瀧野 志



この議会報が今後、議会と町民の皆様とのコミュニケーションのキャッチボールになれば幸いです。

久万高原町は合併から10年になる今年で普通交付税の算定特例期間が終了いたしますが、来年から

特令措置分の14億円の交付税が段階的に減額されると聞いております。今後は町の財政が厳しくなると思います。今年の当初予算は145億円、町の借金は188億円、町民の皆様の負担額(税金)が8億7000万円であります。

今、町をとりまいている状況は大変厳しいものがありますが、議会といたしましては、永年町や地域のために頑張っていた高齢者の医療福祉施設の問題や近い将来起こるであろうと言われている

議会広報「久万高原町議会だより」第1号発刊に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には日頃から、町づくりや議会活動にご理解をいただき、ご支援ご協力賜っておりますこと、心よりお礼申し上げます。

この度、全て議員の手づくりの

議会報が完成いたしました。町村議会議員は普通の仕事をしながら

議員活動を並立しているために、議員による議会報の発行については大変厳しかったわけですが、こ

の度、中野委員長ほか6名の委員の皆様のおかげで発行の運びとなりました。

る東海、南海、東南海地震等の防災問題、将来を託す子どもたちの教育等の問題、また、基幹産業である農林業や商工業・観光業の振興など、多くの問題が山積みしておりますが、一生懸命取り組んで参りたいと思います。

議会といたしましては、町民の皆様福祉の向上を念頭に14人の議員全員が頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご支援賜りますようお願いいたしまして、発刊にあたってのあいさつとさせていただきます。

平成26年

3月定例議会

3月6日から14日までの9日間開催し、平成25年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算11件、事業会計補正予算2件、平成25年度一般会計補正予算の専決処分について1件、損害賠償に係る和解及び損害賠償額の専決処分について1件、条例の制定21件、条例の廃止1件、指定管理者の指定2件、町営土地改良事業の施行について4件、町道路線認定1件を可決。教育委員の任命について1件を同意、工事変更請負の締結に関する専決処分の報告2件を受け請願書1件を不採決、意見書4件を可決した。

■ 補正後

総 額	158億7722万円	(5億3900万6千円増)
一般会計	98億9765万6千円	(5億6861万3千円増)
特別会計	46億8175万8千円	(3128万9千円減)
企業会計	12億9780万6千円	(168万2千円増)

■ 平成25年度会計の主な補正

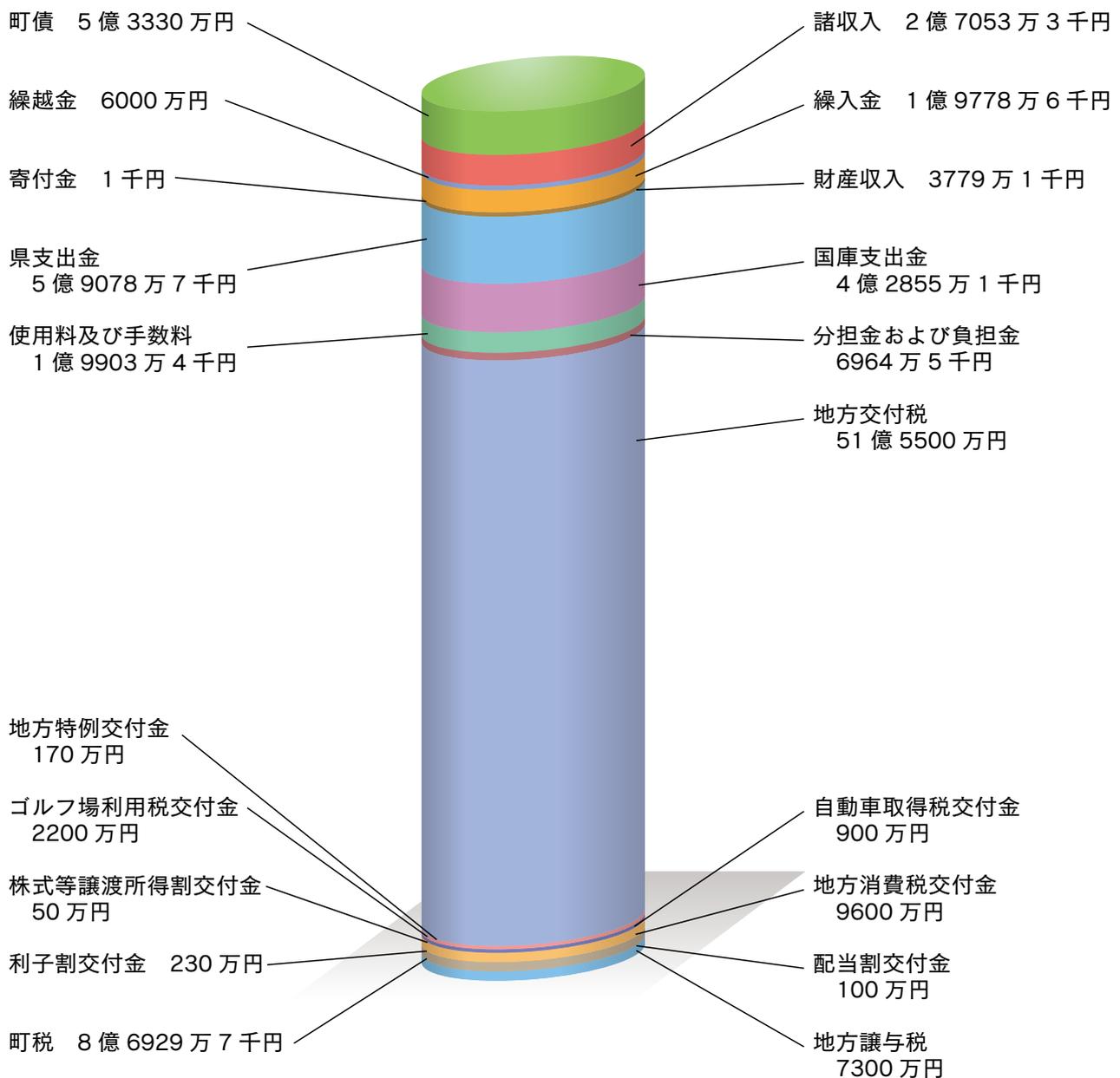
歳出	財政調整基金の積立	3億1969万円	(増)
	環境保全基金の積立	1億円	(増)
	木造住宅支援事業補助金	▲506万円	(減)
	林道開設事業及び負担金	4600万円	(増)
	町道改良工事他	5000万円	(増)
	道の駅整備事業(町道改良費等)	▲3297万円	(減)
	東明神本組団地の建築	9910万円	(増)
	消防基金の積立	2億円	(増)
	塵介処理業務委託料	▲3380万円	(減)

歳入	地方交付税	5億151万円	(増)
	国庫支出金	▲3230万円	(減)
	町債	1600万円	(増)

平成26年度

一般会計当初予算 86億1912万5千円

歳入総額 86億1912万5千円



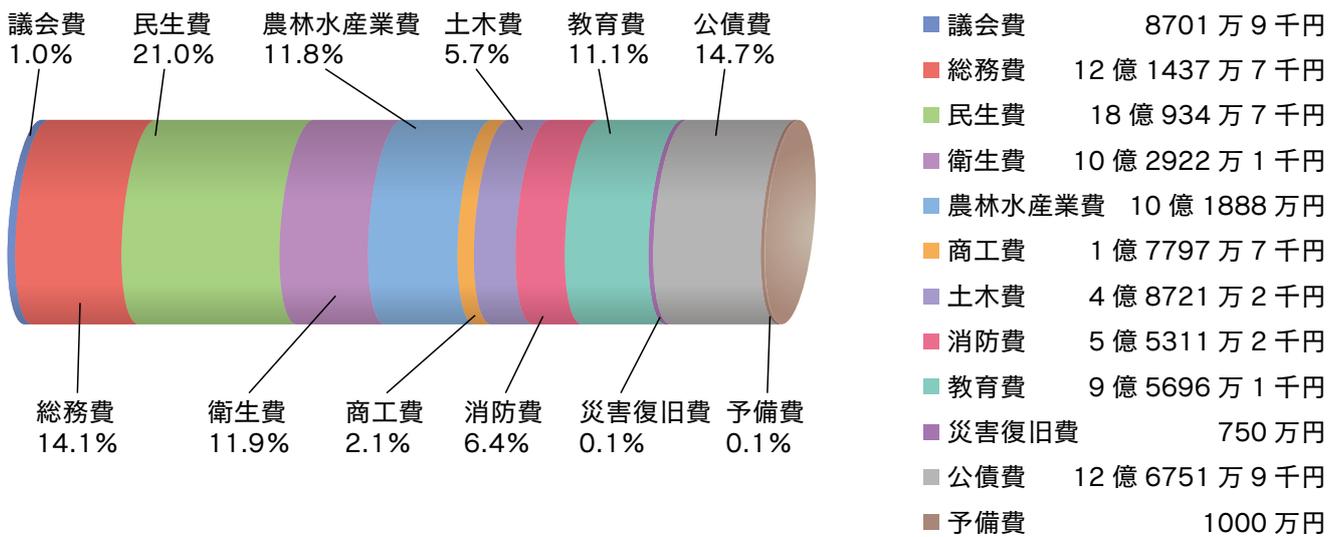
平成26年度予算総額(一般、特別、企業各会計含み)
145億7832万円

平成26年度

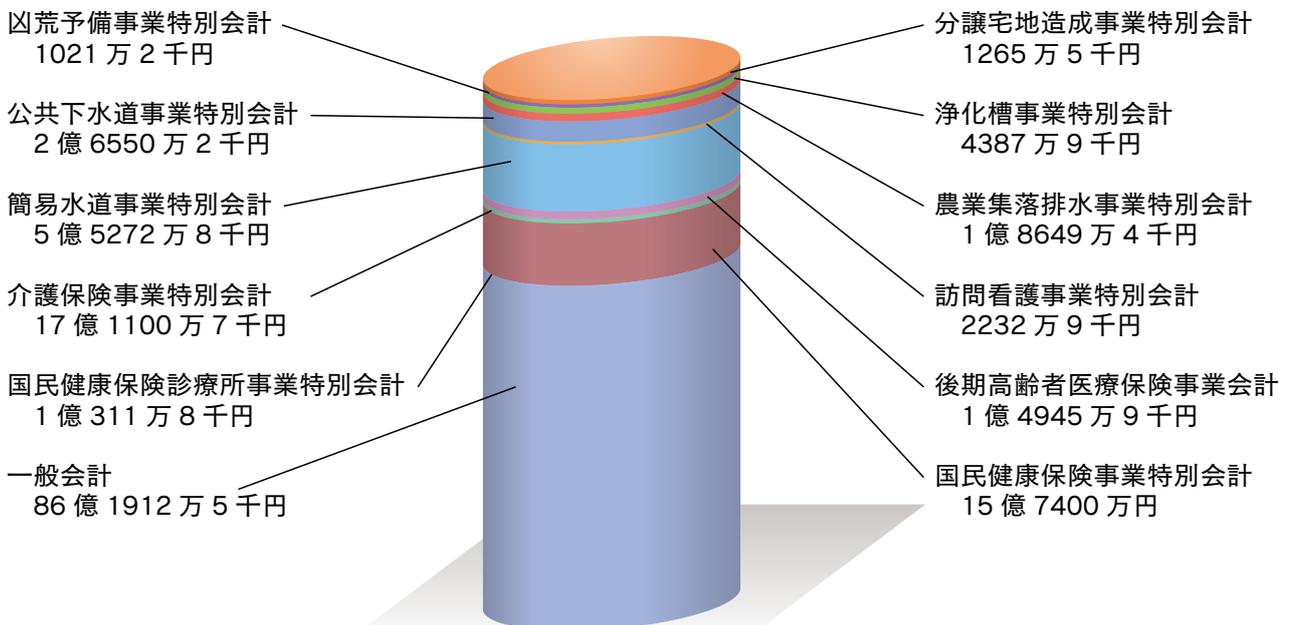
特別会計当初予算 46億3138万3千円

企業会計当初予算 13億2781万2千円

一般会計歳出総額 86億1912万5千円



特別会計歳出総額 46億3138万3千円



一般質問

「水道事業における耐震化」について



川崎 勝弘議員

問 久万高原町は、簡易水道事業を行っているが、消火栓は水道本管から設置されており、初期消火への利用はもとより、防火水利としての依存率も非常に高い本町では、地震に備え、水道の耐震化をどうお考えかまた、現状はどうなっているのか伺いたい。

答 水道施設が68施設、浄水・配水施設が178施設、総管路延長は340キロメートル、浄水・配水施設の耐震化率は18%、管路38%、耐震化が進んでいない。管路の耐震化が最も重要であることは、私たちも感じております。
今後、水道施設の耐震化については、病院、避難場所、防災拠点施設な

ど、関連した水道施設の改良を優先することにしてまいります。

高野町長

問 耐震管と耐震適合性のある管について、伺いたい。

震災が起きますと、火災を想定しなくてはならない、防災組織が行動を起こす際には、消火栓に頼らなければならぬ。久万高原町には防火水利を消火栓に頼らなければならぬ地域があります、最優先して対策をと思いますがどのようにお考えか伺いたい。



高山上水道施設

答 接合部分が外れにくい管路が耐震化に適合した管路です。大規模な地震が発生した場合、一定の被害は当然、想定されます、その場合復旧に対するバイパス管の設置に取組んでおり総合的な整備を、今後も図っていききたいと思っております。

浮田環境整備課長

問 水利の悪い地域についての、優先について、どのようにお考えか伺いたい。

答 久万高原町消防治水調査規定を定めて、水利の現状把握と、保全に努めております。地域別にみますと、まだまだ水利不便地域もございます。修繕の時には、可能な限り消火栓を設けていたきたいと考えております。

織川消防本部消防長

「指定管理者制度の運用」について



山之内敏秋議員

問 指定管理者制度は、住民サービスの向上と、経費の節減などを目的に有効に運用しています。現在の指定範囲の状況と、今後もふやしていくか伺います。

答 指定管理者制度の指定運用については、今後も状況によっては、やらなくてはいけない。また反対に指定管理を、解くところもあります。5年契約しておりますも、更新時までに会社が、ようやらない場合には、町に返していただく。我々も努力し、協力しながら、個人の有効な経営手段を考えて、指定管理をしております。

施設の内訳は、58施設で、公民館など社会教育施設33件、ふるさと旅行村など観光施設16件、農業公園など農業関連施設5件、林業研修センターなど林業関係施設3件、面河の高齢者シェアハウス福祉施設1件と



国民宿舎石鎚

なっております。

今後も少子高齢化が進んでいく中で、指定管理者施設を、議会と相談しながら指定すべきところは、出していきたいと思っております。

高野町長

問 売却予定の国民宿舎石鎚は、国有地の借地であり、将来、廃止になった場合、撤去・自然復元を、町が責任を負うような事はないと思いますが、お伺いします。

答 売却については、検討委員会を立ち上げて、施設を売却するよ

うに、報告を受けております。売買契約書ができたものは、完全に個人のものになり、以後、町の責任はありません。後でフォローするか、修理の予算組むとかございます。

高野町長

問 将来は、医療・介護・文化・上下水道・ごみ・教育施設など、多くを指定管理者制度へと考えられますが、慎重な検討ができるか、お伺いしたい。

答 このことにつきましては、理事者だけが検討して決めるわけではありません。検討専門委員会を立ち上げて、議会に諮り、議決を得ながらおこなってきました。

例えば、医療機関の、町立病院も、ひよつとすると将来あるかもしれません。また、ごみ処理も指定管理に出す場合も考えられるかもしれせん。

事案が発生したときは、皆様方の理解を得ながら、前向きに、積極的に、お話しをさせていただきます。

高野町長

「公共施設久万町民館の調理室」について



田村 昭子議員

問 公共施設、久万町民館の調理室について質問いたします。調理室は、衛生面・設備・備品等の不備で使用しにくい状態です。早急に整備する必要があると思われるが町長のお考えをお伺いいたします。

答 48年に建設され、他の施設も併用できることなど年間10数回使用する程度が現状である。各種団体からの要望で調理器具など購入する予算を計上いたしております。給湯設備など難しい部分があり予算の範囲の中で確認、実施いたしたいと思っております。

高野町長

答 今説明をしました。前向きに進めていく方向にさせていただきます。と思います。

高野町長

問 今年度の大きな事業などに、使えるように繰り上げて、対応するという計画は無いでしょうかお伺いいたします。

答 先ほどからご説明のとおり費用面で全部を一遍にやるといふことは、難しかろうと思えます。

高野町長



町民館

問 町民館は、各種団体の研修の場でもあります。緊急災害時など中心的な役割をする施設として、整備をしていく必要があるかと考えている更にお伺いいたします。

「最終処分場」

について



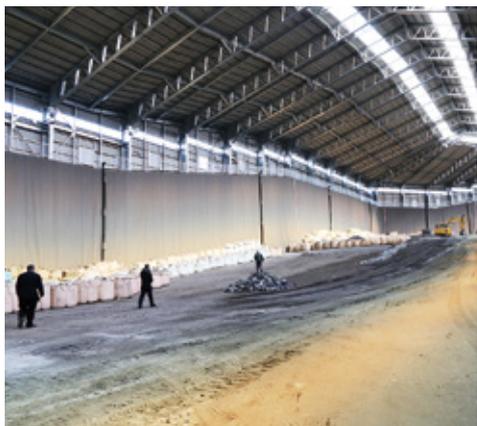
上沖 教一議員

問 先般、全議員で高知県日高村の管理型最終処分場「エコサイクルセンター」へ視察に行った。この最終処分場は、県や市町村、県内の産業・経済団体に運営するものであつてそれだけに、利益優先が目的の民間企業のものとは比較にならないほどの施設であり、徹底した汚染物質の管理体制、誠実な情報公開をしています。

一、町として今後、高知県日高村のエコサイクルセンターへ視察に行くつもりがあるのか。
二、町として株式会社T.O.に対し、今後どの様に対処していくつもりか。

答 視察に同行した環境整備課等の職員からすばらしい立派なものだと聞いておりますので、機会があれば施設見学に行きたいと思つています。

高野町長



エコサイクルセンター内部

問 見るのと聞くのでは随分違うと思ひます。ぜひ早急に検討して行って頂きたい。

T.O.が建設を打ち出して、二年が来ようとしています。町に混乱を招き町政を揺るがしたT.O.に対し、今の現状はどうなのか。今後どの様に進めていくのか。住民が安心して毎日を送るためにも、説明責任があると思うが。

答 当然反対はしておるといふ事は十分に感じて頂いておると思ひます。議会でもこういふ方向で進んでおるのも、承知して居ると思ひます。ただ、T.O.にまで行つてそれを要請することは、難しいかなと思つております。又、皆さんが一生懸命にやっておられることを見守りながら、私たちも側面的にその方向で応援をして行きたい。

高野町長

問 まちづくり懇談会で町長が、私たちは公務員なので先頭に立つて反対は出来ない、止める会が随分熱心にやってくれるので有りがたいといつておりましたが、今後全面的にバックアップしていく気はあるのか。

答 全面的に協力出来ることは協力はする。条例の中で行政として出来ない問題もありますが、できることは応援していきたい。

高野町長

「広葉樹林を生かした
林業施策」について



西山 清一議員

問 久万高原町の面積の90%を占める森林の内、スギ・ヒノキ等の針葉樹林は全国的にも有名で「久万林業活性化プロジェクト」事業も順調に進んでいるが、戦後の高度成長に伴い広葉樹林を伐採し、建築用

材を目的としてスギ・ヒノキへの拡大造林への結果森林の多様性が失われ風雪害に弱い森林が増えてきているように思われます。そうした中、昨年度より広葉樹林の再生を目的とした新たな林業施策が始まりましたが、久万高原町として次の事業にどのように理解し支援していくのか伺いたい。

一、本年度より始まった「森林・山村多面的機能発揮対策事業」の参加団体数及び予算規模は。
二、今年の2月に国が発表した森林整備加速化・林業再生事業の「原木椎茸再生回復緊急対策」の概要について。

答 一、本年度に始まった森林山村多面的機能が中心となり、周辺の里山の景観保全を行つたり、クヌギ等の広葉樹を有効に利用する活動の支援事業です。県全体では、22団体、2700万円の申請金額であり久万高原町では、二名地区の里山保全の会、及び久万里山会の二団体で、合わせて150万円の支援を行つております。この事業は国の森基金の直接補助金が交付されており、県の予算計上は有りません。
二、原木シイタケ再生回復緊急対策の概要ですが、先般、国の補正予算は20億円が計上されており、原木シイタケ生産者の経営安定化を目指した、新たに事業創出の為の事業を支



シイタケ販売風景

援するものです。
県によりますと、1億4千万円程度の予算を予定しておるが、国からの詳細な指示は出てきていないとの事です。

町としては、まずは86%を占める人工林の間伐を進めることが災害に強い健全で、資産価値の高い森林になると考えております。あわせて、今後は、スギ・ヒノキの針葉樹一辺倒ではなく、広葉樹の転換も必要と考えております。林業は難題が山積しておりますが、国、県の事業を積極的に活用し鋭意取り組んでいきたい。

高野町長

問 まず、一番目の事業は、里山の保全とか、放置竹林の手入れ、又子供たちの自然体験等の補助等大変有効な事業と考えますので、町も将来的に勉強し、里山の保全等協力願いたい。

二番目の事業については、近年の乾し椎茸価格の低迷を受けて、全国の生産の8割を占める、愛媛県と九州4県の生産者団体が国に要望し実現した事業です。この事業は国の単年度事業と思われまますので、県下でも大洲市とか西予市等で独自の補助事業を行っているようです。町も将来的に応援する事が出来るのかお聞きしたい。

答 本当にご苦労されていると思います。今後も、町として出来る範囲の事は協力させていただきたいと考えております。

高野町長

「淡水魚養殖の振興」について



高橋 末廣議員

問 日本の水産業において、乱獲による資源の枯渇、漁業規制、漁業就労者の高齢化などを原因として

「獲る漁業」から「育てる漁業」へと方向を転換してからの養殖技術は海水・淡水に関らず目覚ましく進化してきた。

現在は、魚種・質・場所ともに、無限の可能性が開かれ、さらに養殖適地の規制等から、これ以上の海面養殖の拡大は限界となり、水産庁も昨年「水産白書」に「陸上養殖」への取り組みを盛り込んだ。

かつて久万高原町には、アマゴやニジマス養殖の養魚場が点在していたが、現在は高齢化と販売不振から、数か所を残すのみとなっている。

しかしそのような状況の変化もあり、再度久万高原町の清流を生かし、淡水魚養殖による新しい産業を振興する事が得策かとおもわれるが、町長の所見を伺いたい。

答 「陸上養殖」の話題は聞いています。しかしながら、施設の初期投資・電気代・施設維持費等・多くのコストがかかる問題も指摘されているところである。

町内では、6名の方がアマゴ養殖を行っており、県内外に出荷している現状である。産業振興面から検討していく必要があると考えている。6次産業化の中で協力していきたい。

高野町長

問 愛媛県は、養殖技術も進んでおり、非常に期待出来ると思う。

水産試験場の駐在員を要請するなどして、久万高原町ならではの淡水魚養殖の研究を進めてはどうか。

答 素晴らしい提案と理解する、町内には豊富な水、清流があり応援して行くと言う形で活性化を考えている。

高野町長

問 水産物のみならず、農産物・林産物など、久万高原町産のものを町外へ販売していくという事を中心に考えて、各関係機関と提携して、行政としても積極的に取り組んでほしい。

答 地場産業が衰退すれば町の衰退につながる。地場産業は、とにかく応援をして、見守っていく方針に変わりは無い。県の水産課とも相談していく方向としたい。

高野町長



養魚場(上畑野川)

総務文教厚生常任委員会

議案第3号 久万高原町防災センター設置条例の制定について

この条例は、道の駅内の防災センター設置に当たつての条例制定である。

委員 自主防災組織との位置づけの違いや備蓄倉庫の現状、緊急時の対応などについて質疑があった。

理事者 各種団体の防災意識高揚のための場所として提供していき



防災センター

い。54か所の避難指定施設があるが備蓄については県の補助金を活用して整備していきたい。基本的には周辺地域の避難場所として想定している。

議案第4号 久万高原町包括支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について

国の第3次一括法による介護保険法の改正にともなう町条例の制定である。

委員 包括支援センターの役割も重要になってくるので方向性を間違わないようにとの意見があった。

議案第5号 久万高原町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

国の第3次一括法による介護保険法の改正にともなう町条例の制定である。



道の駅

委員 現状では介護予防の事業が進んでいない、町独自の制度を策定してはとの質疑があった。

理事者 国の動向を加味し独自の施策を考えていきたい。

議案第7号 久万高原町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について

国の第3次一括法による消防組織法の改正にともなう、町条例の制定である。

委員 現在までの資格についてはどうであったかとの質疑があった。

理事者 政令で資格要件を定めている。

議案第28号 平成25年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)

予算、補正予算の概要
一般会計 5億6861万3000円の追加 累計、98億9765万6000円となります。



久万高原町高原消防署



仕七川小学校

特別会計 3128万9000円の減額 累計、46億8175万8000円

企業会計 168万2000円の追加 累計、12億9780万6000円

補正額の合計 5億3900万6000円の増額となり、総合計で、158億7722万円です。

委員 職員の採用の基準について質疑があった。



定住促進分譲宅地

理事者 大幅な退職、専門職の欠員があった時に公募により採用している。

委員 起債の現状や今後の見通しなどについて質疑があった。

理事者 借り入れは1年間で10億円以内とし、実質公債費比率をコントロールの目安とし、財政管理を実施していく。

委員 今後厳しくなる、計画的に取組んでほしいとの意見があった。



定住促進分譲宅地

議案第39号 平成25年度久万高原町分譲宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)

予算の補正額は、979万2000円の減額 総額は、286万3000円となります。

委員 早期の全区画の完売に努めてほしいとの意見があった。

理事者 年間5区画の販売を予定している、宣伝も行い目標達成に努めていきたい。

議案第42号 平成26年度久万高原町一般会計予算

予算の総額は、86億1912万5000円

委員 森林組合との土地賃貸料について質疑があった。

理事者 平成26年度から本所用地は250万円、父野川事業所は100万円に増額することとしている。

委員 旅客運賃収入についての質疑があった。

理事者 柳谷産業開発公社と契約している代替えバスの運賃収入である。

委員 柳谷歯科診療所貸付金収入の債務者について質疑があった。

理事者 開業時の貸付金であるが、本人が亡くなられているので今後相続人との協議により解決していきたい。



西明神本組団地敷地

総務関係

委員 電算処理と情報通信費予算が大幅に減額された理由についての質疑があった。

理事者 半年分の予算計上で、システム業者の見直しを行っている。

委員 職員の精神的な疾患の対応について質疑があった。

理事者 職員会などで研修はしているが抜本的な解決には至っていない。

消防関係

委員 火災時などの出動費についての質疑があった。

理事者 1 回の出動費、消防団員は 2000 円、署員は 100 円との答弁でした。

委員 災害時において介護施設、病院の入院患者等の避難対応についての質疑があった。

理事者 夜間の対応については、近隣住民の支援を、避難訓練などを通して協力いただく旨の指導をしている。



老健施設あけほの

議案第 43 号 平成 26 年度久万高原町国民健康保険事業特別会計予算の総額は、15 億 7400 万円

委員 被保険者数、今後の広域化に伴う運営方法について質疑があった。

理事者 被保険者は均等割りで 2318 名、広域化については、平成 29 年度までに県に移行する。



総務文教厚生常任委員会

審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの。」と決定した。



全員協議会

産業建設常任委員会

議案第28号 平成25年度久万高原町一般会計補正予算(第5号)

歳出

環境保全基金積立金 1億円
林業開設工事 3800万円
本組住宅団地の建築及び関連工事 9910万5000円

委員 道の駅の進捗状況・人員配置についての質疑があった。



パン工房

理事者 3月10日に完成検査を終了し、備品を搬入する。人員についてはパン工房4人、レストラン8人、農産物直売所10人の臨時職員22名で対応予定。道の駅全体の総売り上げは2億4000万円予定している。

委員 台風27号の災害復旧進捗率についての質疑があった。

理事者 12月に査定し、発注は終わっているが、台風17・27号の災害復旧については、農地農業施設で2か所の完成以外は繰越となつている。

議案第42号 平成26年度久万高原町一般会計予算

企画観光課

委員 道の駅内のパン工房について雇用形態などの質疑があった。

理事者 職人を2年契約で雇用し、研修を実施し、自己研鑽に努めることとしている。売り上げについては2500万円予定し、3年後での指定管理については検討することとしている。

委員 プレミアム商品券の取り組みなどについての質疑があった。

理事者 6000部の印刷を考えている。大型店舗を除いた町内業者に限ることとするが、詳細については今後検討していく。

委員 久万商店街の中での景観整備について質疑があった。

理事者 商店街の活性化も含めた有効な施設の建築を検討中である。

委員 河川占用については災害などを考慮し、許可については慎重な扱いをしてほしい旨の意見があった。

環境整備課

委員 し尿処理施設の修繕と方向性について質疑がありました。

理事者 修繕は緊急性を考慮し実施している。現施設は平成28年度末で終了の協定があるので、平成26年度中に方向性を決めることとしている。

委員 上水道の公営企業会計への移行時期について質疑があった。

理事者 国の方向が定まらない状態であるが、検討委員会を設置し検討していくこととする。水道は遅くとも平成28年度には移行したい。



し尿処理施設

農政課

委員 農業公社の役割は農地の保全と受託業者の育成が目的であるが、実績と中山間事業についての質疑があった。

理事者 農地の流動化については、新規就農者への斡旋と中間保有を行っている。トマトの生産農家の20%が農業公園の卒業生である。中山間事業は農地保全のために45集落が取り組んでいる。農業公園・公社の検討委員会を行い意見を取りまとめ町長に答申することになっているので答申を踏まえて議会に報告したい。

建設課

委員 公営住宅の現状などについて質疑があった。

理事者 古い住宅は計画的に解体することとしているが久万地域の公営住宅は不足しているが、建築については今後の課題である。

委員 未登記道路については早急に対処すべきであるとの意見があった。



久万浄化センターせせらぎ

議案第50号 平成26年度久万高原

町公共下水道事業特別会計予算
予算の総額は、2億6550万2000円

委員 国庫補助金について質疑があった。

理事者 耐震診断・耐震設計に対する補助金である。

議案第51号 平成26年度久

万高原町浄化槽事業特別会計
予算の総額は、4387万9000円

委員 補助対象になる年間10基設置の見直しについて質疑があった。

理事者 平成24年度は10基以下で補助対象外となったが、今年度は13基で、来年度においても10基は確保できる見込みである。

委員 河川の浄化と快適な生活空間の推進で始まったそれぞれ別の事業であるが、接続率向上が厳しい現状において、区域外で、合併浄化槽に移行できるかどうかの質疑があった。

理事者 管路が通っている場所は接続いたただくようお願いしている。区域外で管路のないところは合併浄化槽で整備することとしているが、高齢化に伴い、条例も含めた見直しをしたい。

審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの。」と決定した。



産業建設常任委員会

研修報告

平成二六年二月五日に高知県日高村の管理型最終処分場エコサイクルセンターの視察研修を実施しました。
この処分場は、屋根付き、無放流が特徴の施設で高知県の産業廃棄物の燃えがらと医療廃棄物の処理施設として平成二三年一〇月から開業されているものです。



議会議員の定数等に関する特別委員会

平成二五年一二月二五日、平成二六年三月三日に第一回および第二回の当委員会を開きました。

合併特例法により、三村一町の四選挙区に分けた小選挙区制が続いています。が、昨年の議会報告会においても住民の皆様の中からこの事についてご意見、ご質問があったこともあり検討を重ねています。



議会改革特別委員会

平成二五年一二月二五日に当委員会を開きました。

議会報告会の反省、住民の皆様にご協力いただいたアンケートの集計結果を基に、報告の方法、内容等について改善し、議会活動を住民の皆様によりわかりやすくお伝えするためにはどうすべきか等意見をかわしました。



編集後記

このたび議員自らの手で「議会だより」を編集、発刊する事となりました。

この取り組みによって、町民の皆様と議会が、より身近なものとなる事も、ひとつの目的です。

こうした作業の中で知識を深めると共に、広報の中身もさらに充実したものと成って、皆様に親しまれ、役立つものとなることを願っています。



上岡 正文

今回、議会会報委員会に参加し、委員の皆様と試行錯誤しながら知恵を出し合いながら、それぞれの特技を生かし構成、編集にと微力ながら協力出来たことは大変いい勉強になりました。

慣れない作業で苦勞もりましたが、委員の皆様と和やかに作業ができました。

これからも、町民の皆様にとつて見やすい、わかりやすい「議会だより」作りに努めてまいります。



川崎 勝弘

議会広報の発刊にあたって、初めての取り組みではございましたが第一号が何とか無事発刊の運びとなりました。

正直なところ、構成、内容などこれほどむづかしいものとは思いませんでしたが、広報委員七名の頑張りで無事発刊出来た事うれしく思います。



長山 淳志

いよいよ議会会報第一号の発刊にこぎつける事ができましたが制作にあたり、ひとりでも多くの町民の皆様に関心をもって見ていただき、町民の皆様と議会の距離が少しでも近づくきっかけとなるような「議会だより」にしていきたいと思っております。



上沖 教一

議会会報の編集は、私の議員としての視野を広げ、問題をとらえ、考える機会となりました。議員として積極的に町民の皆様の中から様々な問題点や、どんな町づくりをすれば良いのかというご意見を見出して、前向きな議論が沢山できるきっかけになればと思います。



山之内 敏秋

初めての「議会だより」の編集委員となり、今回、久しぶりにパソコンと悪戦苦闘致しましたが他の編集委員のメンバーと協力して第一回の「議会だより」を発刊する事ができました。今後、さらにより良い「議会だより」にする様に努力いたします。



西山 清一

住民の皆様と議会との距離をせばめつながらを深める手段のひとつとして「議会だより」を発刊する運びとなりました。

みやすい誌面、わかりやすい内容で議会活動をお伝えしたかったのですが初めてのことでなかなか上手くできませんでした。どうか少しの間、温かい目で見守っていただければ幸いです。



中野 克仁

久万高原町議会だより 第1号 平成26年6月19日

発行／久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188
発行責任者／町議会議長 瀧野 志

編集／議会広報特別委員会
TEL0892(21)0134 FAX0892(21)0134
印刷／明星印刷工業株式会社